



発生条件 気象条件の影響は比較的少ないが、高温・少雨で発生しやすい。  
越冬期の気象では、寒暖差が大きいと越冬密度が低下する。  
天敵寄生蜂などに影響の大きい薬剤の使用は発生を助長する。

天敵 影響大 ハマキサムライコマユバチ ハマキコウライコマユバチ ハマキオスグロアカコマユバチ 顆粒病ウイルス

## チャハマキ (オハマキ)

### 発生生態

害虫の種類 昆虫・鱗翅目

発生の状況 普遍的に発生 被害中

形態と診断 寄生・加害特徴：成葉・古葉を綴り合わせて加害 集団的に発生  
成虫：10～15mm・褐色うすい濃褐色の紋あり(コカクモンハマキより大型)  
幼虫：約25mm・灰緑色で頭部は黒褐色  
蛹：10～13mm・褐色(巻葉内)  
卵：約1.2mm 約130～150個の卵塊で葉表に産下  
黄色で孵化直前に黒点を生ず(眼点期)

被害の様子 坪枯れ状に集中発生する。葉を綴り合わせ内側から食害し、多発すると新葉・古葉とも葉を食いつくす。  
成葉・古葉が食害され、次茶期芽の発芽・生育に影響を受け、減収する。

生態・生活史 越冬：巻葉内で幼虫(3月頃蛹化 4月頃羽化 5月上旬発蛾最盛期)  
発生回数：年4～5回  
産卵：3～5卵塊(1卵塊・・・約150粒)400～750粒を葉表に産下  
加害：幼虫はあまり分散しない 成葉・古葉を好み加害  
生育期間：卵7～13日 幼虫28～32日 蛹7～10日 成虫5～10日

発生消長 越冬世代成虫が3月下旬～5月上旬に発生し、10月頃まで5回発生  
第1世代幼虫：5月中・下旬 成虫：6月上・中旬  
第2世代幼虫：6月下～7月上旬 成虫：7月下～8月上旬  
第3世代幼虫：8月中・下旬 成虫：9月上・中旬  
第4世代幼虫：9月中～10月上旬 成虫：10月中・下旬  
第5世代(越冬)幼虫：11月～3月 成虫：翌年3月下～5月上旬  
(チャノカクモンハマキに比較しやや遅れ、発生期間の幅が広い)

発生条件 チャノカクモンハマキと同じ。  
夏、雨が少ないと多発する傾向がある。

天敵 影響大 キロタマゴバチ チャハマキスヒメバチ 顆粒病ウイルス エントモトウ菌など

防除方法・・・チャノコカクモンハマキ チャハマキ 共通

- 防除のポイント
- ① 発蛾最盛期7～10日後、ふ化間もない若齢幼虫期に薬剤防除する。
  - ② 摘採、整・せん枝により密度低下を図ることが可能である。
  - ③ 性フェロモン剤による交信攪乱防除法も有効である。広面積で実施する。
  - ④ ハマキ天敵(顆粒病ウイルス)を使用した生物的防除は広面積で実施する。
  - ⑤ 二・三番茶期(第1・2世代)、秋芽生育期(3・4世代)の加害被害は大きいので防除に留意する。

具体的防除方法

生物的防除法 (JAS 有機栽培適用)

防除時期	生物的農薬名	使用量・希釈倍数	備考 注意事項
越冬世代 成虫発生期	【性フェロモン剤】 ハマキコン N	ディスプレイ 150～250 本  ロープ製剤 30～50m	・成虫発生初期に設置する。 ・樹冠面下 10cm の枝につける。 ・茶園周囲に張り渡す。 ・50 a 以上広面積で使用する。
一・二番茶摘採後 (発蛾最盛期 10～ 15 日後) (若齢幼虫期)	【顆粒病ウイルス】 ハマキ天敵  【BT 剤】 エスマルク DF サブリンフロアブル ゼンターリ顆粒水和剤 チューンアップ 顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 レビクリーン DF	1000～2000 倍  1000 倍 1000 倍 1000 倍 2000 倍 1000～2000 倍 500～1000 倍	・ふ化～2 齢期巻葉前に散布する。 ・展着剤を加用する。(有機不可)  ・巻葉前の若齢幼虫期に散布する。 ・防除効果はやや緩慢で、劣る。

薬剤防除法

防除時期	農薬名	希釈倍数	備考 注意事項
一・二番茶摘採後  秋期 9 月上中旬  10 月下旬～11 月上旬 (発蛾最盛期 10～15 日後) (若齢幼虫期)	【IGR 剤】 ファルコンフロアブル マトリックフロアブル ロムタンフロアブル  【ジアミド系剤】 エクシレル SE サムコルフロアブル テッパソ液剤 ヨーハルフロアブル	4000～8000 倍 1000～2000 倍 1000 倍  2000 倍 2000 倍 1000 倍 2500～5000 倍	・性フェロモントラップ を利用し、発蛾最盛期を把握し、適期防除する。 ・薬剤抵抗性を考慮し、同一系統の薬剤使用は年 1 回とする。 ・更新園は若葉が多く加害を受けやすいので留意する。 ・IGR 剤、ジアミド系剤は発蛾最盛期からその 1 週間後までに散布する。

	<b>【その他の剤】</b> <b>アグリメック</b> アファーム乳剤 アファームエクセラ顆粒水和剤 スピノエースフロアブル <b>ディナ SC</b> グレーシア乳剤	<b>1000 倍</b> 1000～2000 倍 1000 倍 2000～4000 倍 <b>2500～5000 倍</b> <b>2000 倍</b>	・他害虫と同時防除できる場合は適用できる薬剤を選択する。 ・太字剤は栽培暦採用薬剤 ・スピノエースは JAS 有機栽培園に使用できる。
--	---	--	---



チャノコカクモンハマキ成虫 雌 雄



チャハマキ成虫 雌 雄



チャハマキ 被害状況



ハマキ激発生茶園



チャノコカクモンハマキ 卵塊（葉裏）



ふ化直前のチャハマキ 卵塊（眼点期）



ハマキ天敵（顆粒病ウイルス）に感染・罹病した幼虫（乳白色、灰白色化）